

事例2 茨城県取手市（東京藝術大学）

芸術系

市内初の大学キャンパスの設置。市民を巻き込んだ運営で30年の効果継続を実現

事例の概要

取手市は東京から約40分の立地で、東京・成田・つくばの中央に位置し、各地域からのアクセスの良さが強みの1つとなっています。
東京藝術大学との交流にも積極的で、地域の様々な施設・環境を東京藝術大学の学生に提供するなど、地域を上げてアートの街として取り組みを活性化しています。

茨城県 取手市

基礎データ

- 人口：105,921人
- 面積：69.94km²

※取手市HPより

- 都市特性
茨城県の「まちづくり
特別市」に認定
「アートのまち取手」として街づくりを展開



キャンパス設置前の課題

- ①市内に高等教育機関がないことによる若者の県外流出
- ②右肩上がりの高齢化率

東京藝術大学

基礎データ

- 設立年：1949年
- 本拠地：東京都台東区
- 学生数：1,999名（2020年度）
- 学部：音楽学部・美術学部
- 他地域のサテライトキャンパス：
神奈川県横浜市 東京都足立区

キャンパス設置前の課題

- ①100周年記念事業に伴う美術学部の敷地拡大
- ②美術教育研究に好環境であるサテライトキャンパス設置先の選定

東京藝術大学 取手キャンパス

基礎データ

- 設置年度：1991年度
- 学生数：343名
- キャンパス面積：164,095m²
- 設置学部：美術学部
先端芸術表現科

キャンパスの特徴

- 取手キャンパスは、広大な敷地面積に自然豊かなキャンパスで教職員や学生の芸術活動に適した環境となっていることが特徴です。
- キャンパス施設の一部は市民に一般開放されており、キャンパス敷地内に路線バスの乗入れが行われているなど、市民に開かれたキャンパスとなっています。

設置にあたっての地方公共団体からの支援

設置前支援

- ・土地開発公社による先行用地取得

設置後支援

- ・取手アートプロジェクト※への市からの補助金支出
- ・東京藝術大学卒業・修了制作展作品に対する取手市長賞（美術分野）の設置
- ・音楽分野の卒業・修了予定者に対する取手市長賞（音楽分野）の設置
- ・実行委員会の設置と年1度の藝大連携協議会の開催

サテライトキャンパスの誘致・設置の沿革

年度	内容
1976	第二次総合計画において大学誘致が掲げられる
1981	国土庁 学園計画ライブラリーに小文間地区を登録
1983	小文間地区に大学の進出が決定・誘致準備室を設置
1984	藝大キャンパス設置を決定
1991	取手キャンパス開校

※取手アートプロジェクト：東京藝術大学、市民、および行政が一体となって実行委員会を組織し運営するアートプロジェクト。「半農半芸」や「アートのある団地」といった通年型の活動をベースに、アートに関するイベントも各種開催しており、取手市をアートのあるまちとして創造していくことを目的としている（取手市HPより）。

キャンパス設置の効果と課題

取手市では「市内にキャンパスを置く大学がない」といった課題とともに、地方公共団体が首都圏キャンパスを誘致するという当時の潮流にも対応が求められていました。キャンパスの設置により、市内設置大学が誕生し市民からの注目度は向上、学生や教職員に加え芸術関係の移住者も増加し、市の都市像である「文化・商業都市」の実現、および現在までに至る継続的な効果創出につながっています。



東京藝術大学取手キャンパス 外観

キャンパス設置の効果

- 芸術・文化面への市民の方からの関心度の高まり
- 芸術関係者の移住（藝大生以外の居住人口の増加）
- 市内の施設装飾の活性化

キャンパス設置後の課題

- 大学からの立案企画の実行に伴う予算の確保

誘致のポイント

① 大学の特色を生かしたまちづくり戦略

- 本事例においては、取手市が東京藝術大学の特徴である「芸術」を取手市のまちづくりの中心テーマとするなど、市全体を上げて誘致・その後の運営を実現しています。
- 大学の強みや特徴を市が一緒になって体現していくという試みが誘致成功、そしてその後の長年のキャンパス維持の重要ポイントとなっています。

② 民間との協同プロジェクトの推進

- 市、企業、藝大による官民学連携事業として、駅前にアート拠点「たいけん美じゅつ場 VIVA」を整備し、個性豊かな事業を展開しています。
- 藝大食堂（NPO法人取手アートプロジェクトオフィスによる運営）は一般開放もされ、大学、学生、市民の接点となり、親しまれています。
- これらのプロジェクトは市民・大学・市の三者協働で行っており、大学と地域のコネクションが複数存在することが誘致後の効果を継続するためのポイントの1つとなっています。



③ 地元小中学校とのつながり形成

- 取手市では、東京藝術大学の学生に市内の小中学校での派遣授業を行う「文化交流事業」を要請・開催しています。
- この活動が地元の次世代への大学認知度向上や進学希望者の増加にもつながっています。地域のみならず大学にとってのメリットも訴求していることがポイントです。